



▲緑小学校



▲猪苗代小学校

美しいハーモニーを奏でる

野口英世博士顕彰記念小中学校音楽祭

第34回野口英世博士顕彰記念町内小中学校音楽祭は10月5日、学びいなで開かれ、町内の小中学生が合奏や合唱などを披露しました。午前小学校の部、午後中学校の部を行い、参加した児童、生徒たちは、この日のために練習してきた成果を発表しました。また、アフリカ伝統音楽を演奏する5人組グループ「J A M B O」による鑑賞会が開かれ、児童らはアフリカの伝統音楽のリズムに親しみました。



▲千里小学校



43点の作品が並ぶ写真展会場

猪苗代の魅力を写真で紹介

和みいな写真展「美しい猪苗代」Ⅱ

写真展「美しい猪苗代」Ⅱは10月3日から15日まで、和みいなで開かれました。

写真は、いなわしろフォトクラブ会員10人が提供。会場には、磐梯山や猪苗代湖など、本町の美しい自然や風景などを撮影した作品43点が展示されました。いなわしろフォトクラブの浅川幸助会長は「これからも写真を通じて猪苗代の魅力を発信していきたいです」と話しました。

科学の楽しさに触れる

「科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー」

子どもたちにモノづくりの大切さや科学の楽しさに触れてもらうことを目的とした工作教室「科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー」は10月1日、学びいなで開かれ、県内の小学生約30人が参加しました。この工作教室はトヨタ自動車などが企画。子どもたちはビデオで自動車の衝突安全ボディに関する理解を深めた後、創意工夫を凝らした車の模型をそれぞれ作成し、衝突した際の衝撃の少なさを比べるコンテストを行いました。



車の模型を使い、自動車の安全性などを学ぶ参加者ら



大会での健闘を誓う選手ら



抱負を話す渡部監督



選手宣誓する影山主将

ふくしま駅伝の健闘を誓う

ふくしま駅伝町選手団結団式

第29回市町村対抗県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）の町選手団結団式は10月15日、学びいなで行われました。結団式には選手ら約50人が出席。前後公町長が「町の部2回目の優勝を目指して頑張ってください」とあいさつ。長沼一夫町議会議長が「日頃の練習の成果を発揮し、頂点を目指してください」と激励の言葉を述べました。

渡部敏弘監督は「今年は中学生を中心に実力のある選手がそろいました。選手層が厚くなり、例年よりも全体的にレベルアップしていると思います。他の上位チームのような絶対的エースはいませんが、チーム全体でカバーしていきたいです」と抱負を話しました。

選手団を代表して影山裕主将が「町の代表として、チーム一丸となってタスキをつなぎ、最後まで楽しんで走ります」と選手宣誓しました。

ふくしま駅伝は11月19日、白河市総合運動公園陸上競技場をスタートし、福島市の県庁前にフィニッシュする16区間、95.1^{キロ}で繰り広げられます。猪苗代町チームのゼッケン番号は32です。皆さんの応援をよろしくお願いいたします。



セレモニーに参加した皆さん

花が咲き誇るまちに

「市町村の花」の花壇プロジェクト

県内の市町村に各自治体の花などを植える「ふくしまを花で飾ろう『市町村の花』の花壇プロジェクト」の花壇完成セレモニーは10月13日、カメリーナ玄関前で行われました。セレモニーでは、福島民友新聞社の菅野芳美事業局長が「新しい花の名所を楽しんでほしい」とあいさつ。菅野局長と前後町長が県の花ネモトシャクナゲ、さくらこども園の園児と亀ヶ城公園結の里保存会員らがナナカマドを植樹しました。

町政発展への協力に感謝

退任教育委員・人権擁護委員感謝状贈呈式

退任教育委員および退任人権擁護委員感謝状贈呈式は10月2日、町役場で行われました。式では、前後公町長が任期満了に伴い退任した前教育委員の二瓶和夫さん（木地小屋）と前人権擁護委員の六角京子さん（金曲）にそれぞれ感謝状を手渡しました。二瓶さんは教育委員を1期4年間、六角さんは人権擁護委員を2期6年間務めました。また、引き続き教育委員辞令交付式が行われ、小檜山清一郎さん（湊志田）に辞令が交付されました。



前後町長から感謝状を受ける二瓶さん（右）



内堀知事に報告する阿部さん(左)

全国菓子大博覧会受賞報告

知事に文部科学大臣表彰を報告

全国菓子大博覧会(4月21日～5月14日、三重県伊勢市)の工芸菓子部門で文部科学大臣賞を受賞した會津豊玉の阿部大三さんは10月13日、県庁を訪れ、内堀雅雄知事に受賞を報告しました。受賞した作品「四季彩雲」は、高さ約1㍓、幅約90㍓、奥行き約90㍓で、砂糖やもち米の粉、白あんなどを使い、白鷹の成長を表現しました。また、阿部さんは内堀知事に受賞作品とは別の工芸菓子作品をプレゼントしました。

懐かしの軽便鉄道を訪ねて

第19回いなわしろ軽便ウオーク

第19回いなわしろ軽便ウオーク～懐かしの軽便鉄道を訪ねて～は10月1日、J R川桁駅から中ノ沢温泉までの約18㍔のコースで行われました。町内外から約170人が参加し、沼尻軽便鉄道跡を歩きました。開会式では西村和貴実行委員長らがあいさつした後、鈴木清孝さんのハーモニカの演奏に合わせて、沼尻軽便鉄道がモデルとなった「高原列車は行く」を合唱しました。参加者は、晴天の下、田園風景が広がる道のりを楽しみました。



J R川桁駅をスタートする参加者ら

長年の献血協力に感謝

日赤福島県支部献血団体並びに献血推進団体表彰式

献血の推進や啓発活動に功績があった団体を表彰する「日本赤十字社福島県支部献血団体並びに献血推進団体表彰式」は10月4日、福島市の日本赤十字社福島県支部で行われ、国立磐梯青少年交流の家が金杵支部長感謝状を受賞しました。この感謝状は、献血活動を10年以上続けている団体に贈られるものです。感謝状を受けた国立磐梯青少年交流の家の進藤哲也所長は「今後も青少年の健全育成と社会貢献に努力します」と話しました。



表彰式に出席した進藤所長(前列左から3人目)ら

中学生が熱戦を繰り広げる

北会津管内中学校体育大会新人総合大会

平成29年度北会津管内中学校体育大会新人総合大会は9月27日、町運動公園楽天イーグルス猪苗代球場やカメリーナ、各学校の体育館などで開かれました。

大会には町内3中学校と磐梯中学校の4校から1～2年生が参加。軟式野球やバレーボール、バスケットボールや卓球など7種目で熱戦が繰り広げられました。参加した選手たちは、日ごろの練習の成果を競い合いました。



バレーボールで熱戦を繰り広げる選手



ソフトボールで熱戦を繰り広げる選手

スポーツを通じて親睦を深める

町民球技大会中央大会

町民球技大会中央大会は10月1日、ソフトボールが町運動公園球場で、家庭バレーボールがカメリーナでそれぞれ開かれ、地区大会を勝ち抜いた各代表チームが熱戦を繰り広げました。カメリーナで行われた開会式では、選手を代表して幸野ソフトボールチームの白川光さんが「全力で戦い抜くことを誓います」と選手宣誓しました。熱戦の末、ソフトボールは上戸・上戸駅前・湊志田チームが、家庭バレーボールは扇田チームが優勝しました。

事故防止へ誓いを新たに

喜多方市で県交通安全県民大会

第56回県交通安全県民大会は10月17日、喜多方市の喜多方プラザ文化センターで開かれ、県内の交通関係団体から約1000人が参加しました。鈴木正晃副知事らがあいさつを述べた後、交通安全に尽力した個人や団体への表彰が行われました。本町からは、猪苗代地区交通安全協会前会長の鈴木榮太郎さんが交通安全活動協力者として、長瀬小学校が交通安全優良学校としてそれぞれ県交通対策協議会長表彰を受賞しました。



受賞した鈴木さん(右)と鈴木哲明長瀬小校長

猪苗代湖の水質保全を図る

東中生徒と猪苗代ライオンズクラブが水草回収

東中学校の1～3年生と猪苗代ライオンズクラブは10月6日、猪苗代湖の天神浜で湖岸に漂着した水草の回収作業を行いました。この活動は、腐敗すると水質汚濁の原因となる水草を回収し、湖の水環境を保全するため、平成23年から実施しています。生徒たちは、猪苗代ライオンズクラブの会員や猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見賢代表から指導を受けながら、フォークなどを使って湖岸に打ち上げられた水草を熱心に回収しました。



湖岸の水草を回収する東中の生徒とライオンズクラブ会員

子どもたちの教育に役立てて

日本生命労働組合DVD贈呈式

日本生命労働組合は10月4日、町内の6小学校に小学生向けのDVD教材各1枚を寄贈しました。同労働組合では地域貢献活動の一環として、子どもたちに再生可能エネルギーの大切さに触れてもらうことを目的として、小学生向けのDVD教材を作成しました。町へのDVD贈呈式は同日、町役場で行われ、日本生命郡山支社喜多方営業部の日下古典営業部長と齋藤真由美さんが宇南山忠明教育長にDVDを手渡しました。



教育長にDVDを手渡し日下部長(右)と齋藤さん(中央)